

KINDAI KENCHIKU

June

Vol.68  
2014

# 近代建築

# 6

特集 + 梓設計の空港旅客ターミナルビル

特集 + 保育建築の計画と設計



# 東京ゆりかご幼稚園

東京都八王子市

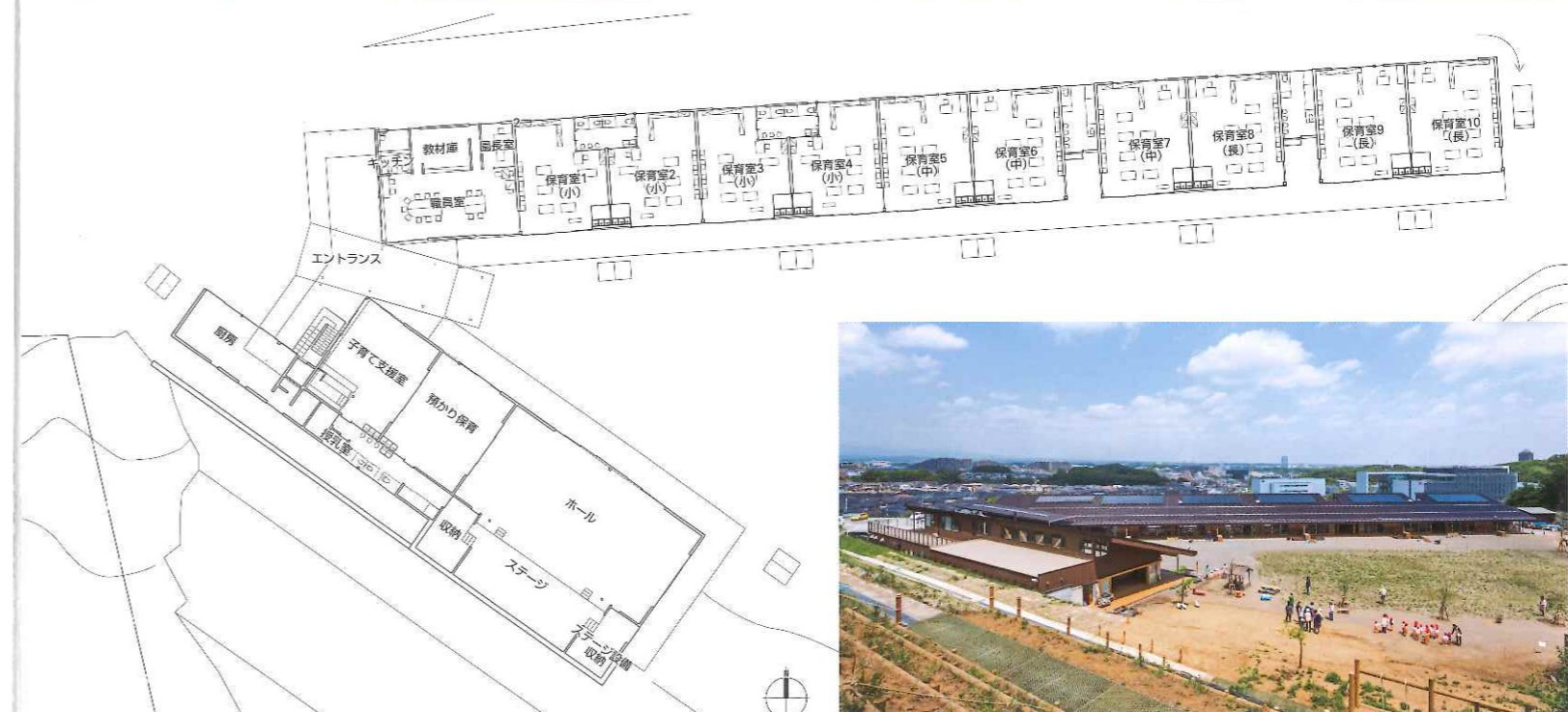
設計・監理 / 渡辺治建築都市設計事務所  
 施工 / 砂川・ロード建設共同企業体  
 Tokyo Yurikago Kindergarten  
 Osamu Watanabe Architects



上 / ホール前の庇下よりエントランス方向を見る 右手が保育室棟 右上 / 庇の圏長がつくる、つばさを広げたようなエントランス 右下 / 向き合いながら森へ開く大きな2つの庇



園庭からは、動物達が住む森と空しか見えない、別天地



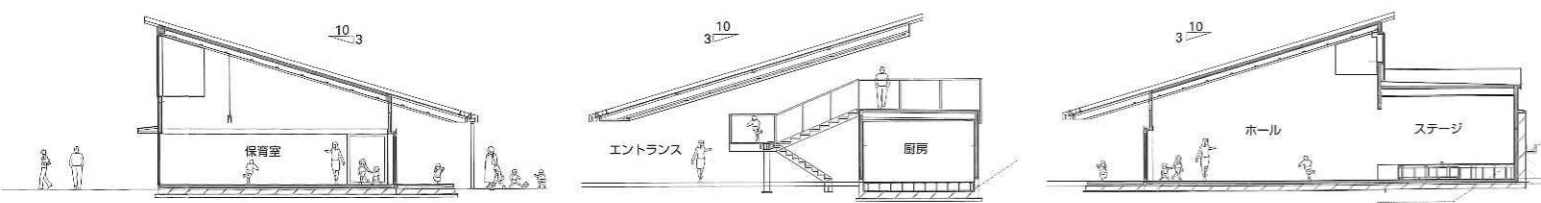
配置図・1階平面図 縮尺1/600



敷地は下のまち並みから15mの高台にある



南の園庭側は大自然、教室の北側の窓越しにまちの風景と空が見える



保育室横断面図 縮尺1/300

ホール・子育て支援棟・厨房部分断面図

ホール・子育て支援棟・ホール部分断面図



子育て支援室



上/ホールを見る 下/保育室



LVL 横架材設置風景



LVL 横架材軒先接合部



屋根下地組み上がり

### 設計主旨

この敷地は、新興住宅地を見下ろす高さ15mの高台にあり、背に広大な森をいただいている。床ちようど山里のようであるが、高台ゆえの強風と直射日光は厳しい。5年前に敷地に案内された時には、地面はじめじめとしており、イノシシや狸の足跡がそこら中にあった。ここでの環境づくりは荒々しい自然と、野生の動物との戦いでもある。棚田、畑、芝生、作業小屋、囲い、徐々に時間をかけて父兄との協働で作られた。アプローチ道路も作り、水はけのために池や小川もつくられ、いつの間にか、小川はオタマジャクシがたくさん生息するようになった。建築は、住宅用の小中断面の部材を使い、こどもたちの民家として計画した。9.1mのスパンには、H型のLVLの高剛性で軽い梁を使うことによって、2間もの張り出し

の庇を支えることができ、保育室と自然をゆるやかにつなぐ優雅な空間をつくることに成功している。厳しい寒さに対しては、天井、壁に加え、床下にも高性能の断熱材を使うことによって、暖かい空間とし、熱さに対しては、折半屋根で光を遮り、南北に抜ける換気によって心地よい環境を獲得させようとした。太陽発電パネル、井戸水利用、雨水利用、既存園舎からの床材、建具も移設利用された。オイル仕上げの床材。天然木のデッキ材、紙と木チップの天井材、石膏塗りの壁、多摩産材の杉板と家具。建物がきれいにできても、この高台の厳しい自然は変わらない。夜になればいぜんとして、イノシシやタヌキがでてきてこどもたちがつくった畑や田んぼを荒らす。ここでは父兄がときどきやってきて園長と協働で作業を行う。こどもたちは作業を手伝い、自然の中で発見し驚き、運動し、冒険し、と

ぎにはけんかし、ふつうに泣き、そして笑う。そして、自然の猛威に恐れをなし、自然の恵みに感謝する。そして、ここの「里山保育」になっていく。

(渡辺 治/渡辺治建築都市設計事務所)



渡辺 治……わたなべ おさむ  
1959年北海道生まれ。1985年北海道大学修士課程修了、1986年ペンシルバニア大学修士課程修了、1991年東京大学博士課程(高橋鷹志研究室)修了1992年渡辺治建築都市設計事務所設立



加茂下 喜人……かもした よしと  
1975年埼玉県生まれ。2000年千葉工業大学博士前期課程工業デザイン学専攻修了、同年渡辺治建築都市設計事務所入社、2011年用舎設立



中田 琢史……なかつ たたくし  
1967年三重県生まれ。1991年東京造形大学造形学部絵画科卒業、同年構造設計集団<SDG>入社。2002～2013年リズムデザイン主宰、2014年リズムデザイン=モヴ一級建築士事務所共同主宰

### 東京ゆりかご幼稚園 データ

所在地 東京都八王子市七国3-50-2  
主要用途 幼稚園  
建築主 学校法人 東京内野学園  
設計・監理 渡辺治建築都市設計事務所  
担当/総括: 渡辺 治 建築: 加茂下喜人、本田 京、山崎智貴、沖水理恵  
構造 リズムデザイン=モヴ一級建築士事務所  
担当/中田琢史、齊藤美幸  
設備 三高設計 担当/三島行雄  
施工 砂川・ロード建設共同企業体  
担当/岡野弘幸、村越秀仁

設計期間 2011年4月～2013年7月  
工事期間 2013年7月～2014年1月  
【建築概要】  
敷地面積 21,301.01㎡  
建築面積 1,801.05㎡  
延床面積 1,855.65㎡  
建ぺい率 8.46% (許容30%)  
容積率 8.72% (許容60%)  
構造規模 木造、一部鉄骨柱 地上2階  
寸法 最高高さ/6.86m 軒高/6.50m

階高/3.24～3.42m 天井高さ/4.17～2.26m  
主なスパン/7.5m×9.1m  
道路幅員 22.0m  
駐車台数 36台  
地域地区 第一種高度地区、第一種低層住居、絶対高さ10m、下水処理区域、南八王子地区計画、法22条区域、宅地造成区域  
【施設概要】  
定員 240名(現状、166名に限定)  
1クラス人数 年少18人、中年長28人  
1クラス面積 68.25㎡  
【設備概要】  
主な環境配慮技術 井戸水、太陽光発電、雨水利用  
電気設備 受電方式/低圧受電  
空調設備 空調方式/電気ヒートポンプ方式 熱源/電気、ガス  
衛生設備 給水/市水40φ 給湯/ガス給湯 排水/公共下水道  
防災設備 消火/パッケージ消火器、消火器 排煙/自然排煙(法的義務なし)  
特殊設備 マキストーブ

【主な外部仕上げ】  
屋根 折半屋根  
外壁 サイディング、杉板  
建具 木建具  
【主な内部仕上げ】  
教室 床/ナラフローリング、メープルムク材再利用 壁/石膏(コンパウンド)、杉板 天井/木チップ入り紙クロス(ルナファーザー)  
職員室 床/長尺エンビシート 壁/石膏(コンパウンド) 天井/木チップ入り紙クロス(ルナファーザー)  
トイレ 床/長尺エンビシート 壁/ビニールクロス、腰壁・ポリ合板 天井/ビニールクロス

撮影/近代建築社(新井隆弘写真事務所)

協力会社	
LVL横架材(屋根部材)	キーンテック
天井仕上材	日本ルナファーザー
防水工事	田島ルーフィング